

今アメリカでは人種差別反対のデモが各地で行われ、「人の尊厳」を改めて問い直すという動きが盛んになっています。以前からアフリカ系にルーツを持つ家庭では、親から子へ「警察に声をかけられた時に身を守る方法」や、世間の偏見から「無闇に怖がられないようにする方法」を教えることが、普通に行われていたと聞きます。

これはわが国でも、たとえば障がいのある方が「もの言わない」うちは受け入れるけれど、「自分の意見を主張」すると「矯正」の対象にされてしまったりすることに通じるのを感じます。「ぼくもきみにもひとつずつ、輝いているこのいのち、生まれてよかったと、ラララ歌いたい♪」…この歌の意味が、今週はひときわ大切に感じます。

農福連携・・・レタス畑のマルチ剥ぎの作業開始！

JA 組合員さんとの「農福連携」作業が今年も始まりました。朝日村のレタス畑に向いて、マルチを剥いで回収する作業です。なかまもこれまで経験してきた作業で、すぐに勘を取り戻して、はりきって取り組んでいます。現在ホテルの清掃作業が新型コロナウイルスの影響で宿泊客が激減し、休止となったまま、再開の見通しが立たない状況です。この中で、職員も仕事探しに取り組んだところ、レタス農家さんが「今年もお願いします」と声をかけてくださいました。

去年までの取り組みが「頼りにされていた」ということで、とてもうれしく感じました。

これから益々暑くなります。熱中症に十分気をつけて取り組んでいきたいと思います。

